

みやぎ 宮城の子どもたちへ

へいせい
平成 23 年 3 月 11 日 午後 2 時 46 分

さんりくおき しんげん きょだいじしん
三陸沖を震源とする巨大地震が起き、それともなう大津
なみ とうほく えんがん よ ひがしにほんだいにしんさい
波が東北地方の沿岸におし寄せる東日本大震災が発生しま
した。

この東日本大震災により、宮城県では、死者・行方不明者
が 11, 785 人にのぼり、多くの尊い命が失われました。

わたし にちじょう
私たちの日常の生活をいっしゅんにしてうばってしまった
わす
忘れてはいけない日となりました。

私たちは、この震災のことを絶対に忘れることなく、後世
に語り継ぎ、今後起こりうる災害と向き合い、未来へつな
いでいかななくてはなりません。

自然は、私たちに、美しさやめぐみをあたえてくれます。
しかし、時として、津波のように自然が大きな力となって
命に危険をおよぼすことがあるのです。

その特徴を知り、しっかりと備えておくことで命を守ること
ができます。

そのことを東日本大震災から教えられました。

みんなの命とこれからの子どもたちの命を守るために、
宮城県では、
みやぎぼうさい
みやぎ防災教育副読本「未来への絆」を作成しました。

この副読本「未来への絆」を使って、家族や友達、地域との
絆を大切にし、自分にはなにができるか考えていきましょう。

みなさんが
未来への命を守る種をまき、
地域のみなさんと防災の根をはり、
しょうらい えがお
将来ずっと笑顔があふれる花が咲き続けられるように。

2015 (平成 27) 年 3 月 11 日
宮城県教育委員会